

# 香川県の地震

令和6年（2024年）10月

## 香川県の地震活動

|                |     |   |
|----------------|-----|---|
| 震央分布図、断面図      | ・・・ | 1 |
| 地震概況           | ・・・ | 2 |
| 香川県の地震表（震度1以上） | ・・・ | 2 |
| 震度分布図          | ・・・ | 3 |

## 南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果

（令和6年（2024年）11月8日）

・・・ 4

## 地震一口メモ

津波から身を守るために

・・・ 5～6

この資料の震源リスト・震源要素（緯度、経度、深さ、マグニチュード）は暫定値であり、後日再調査の上修正されることがあります。

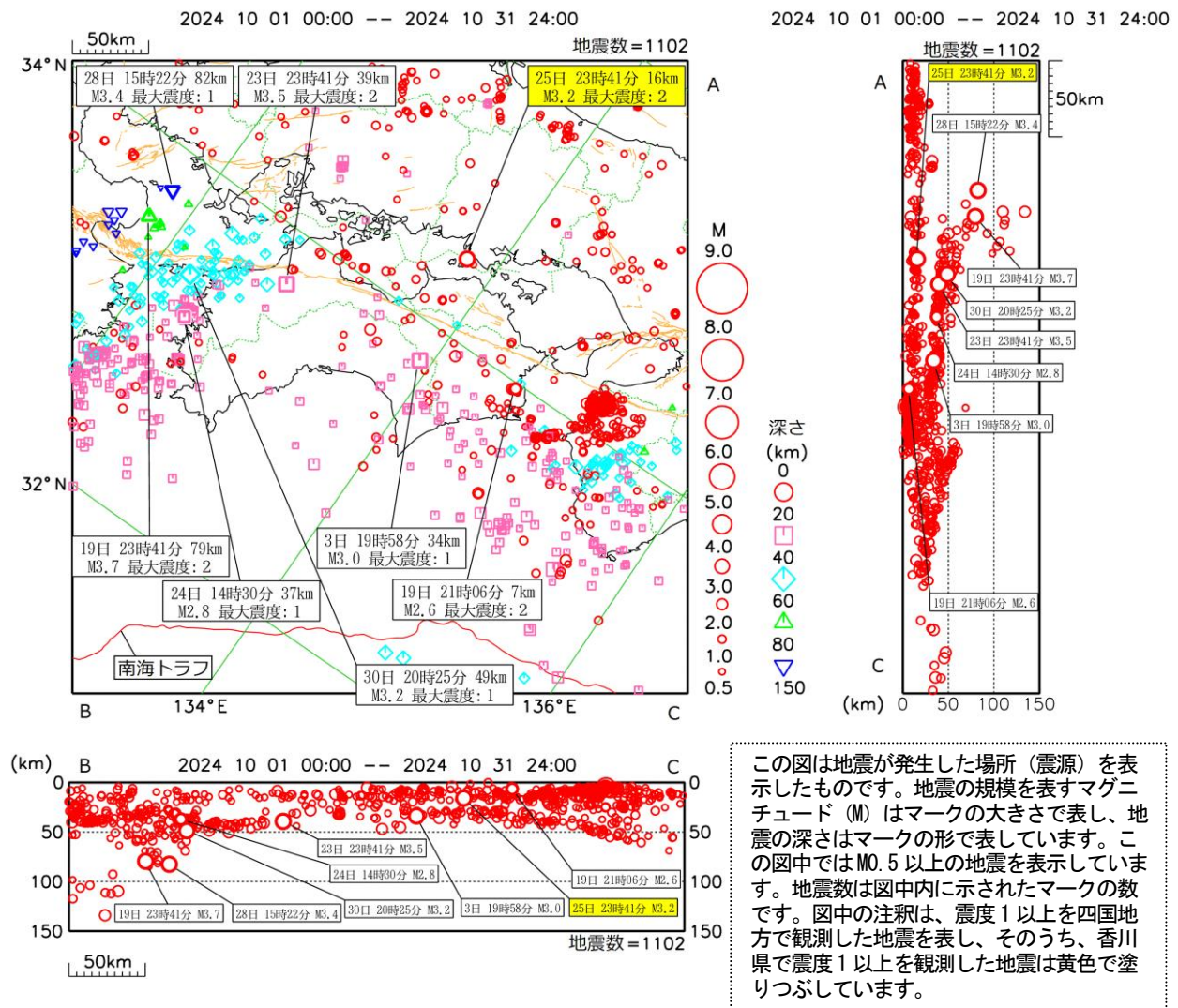
本資料は、国立研究開発法人防災科学技術研究所、北海道大学、弘前大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、高知大学、九州大学、鹿児島大学、国立研究開発法人産業技術総合研究所、国土地理院、国立研究開発法人海洋研究開発機構、公益財団法人地震予知総合研究振興会、青森県、東京都、静岡県、神奈川県温泉地学研究所及び気象庁のデータを用いて作成しています。また、2016年熊本地震合同観測グループのオンライン臨時観測点（河原、熊野座）、2022年能登半島における合同地震観測グループによるオンライン臨時観測点（よしが浦温泉、飯田小学校）、米国大学間地震学研究連合（IRIS）の観測点（台北、玉峰、寧安橋、玉里、台東）のデータを用いて作成しています。

高松地方気象台

# 【香川県の地震活動】

2024 年 10 月

## ◎震央分布図、断面図



## ◎地震概況

香川県で震度1以上を観測した地震は、次の1回でした（前月は1回）。

25日23時41分 瀬戸内海中部の地震（深さ16km、M3.2）により、丸亀市・坂出市・宇多津町・多度津町・綾川町で震度1を観測しました。この地震では、岡山県倉敷市・岡山市南区で震度2を観測したほか、岡山県、香川県で震度1を観測しました。

四国で震度1以上を観測した地震は、前述の他に次の7回でした。

3日19時58分 高知県中部の地震（深さ34km、M3.0）により、徳島県美馬市で震度1を観測しました。

19日21時06分 徳島県北部の地震（深さ7km、M2.6）により、徳島県阿南市で震度2を観測したほか、小松島市で震度1を観測しました。

19日23時41分 伊予灘の地震（深さ79km、M3.7）により、愛媛県久万高原町・宇和島市・松野町で震度1を観測しました。この地震では、大分県国東市で震度2を観測したほか、広島県、愛媛県、高知県、山口県、大分県で震度1を観測しました。

23日23時41分 愛媛県中予の地震（深さ39km、M3.5）により、愛媛県宇和島市で震度2を観測したほか、愛媛県内の数カ所で震度1を観測しました。

24日14時30分 豊後水道の地震（深さ37km、M2.8）により、愛媛県宇和島市、高知県宿毛市で震度1を観測しました。

28日15時22分 周防灘の地震（深さ82km、M3.4）により、愛媛県久万高原町・宇和島市・八幡浜市、山口県光市・下松市、大分県国東市で震度1を観測しました。

30日20時25分 豊後水道の地震（深さ49km、M3.2）により、愛媛県宇和島市・八幡浜市・伊方町で震度1を観測しました。

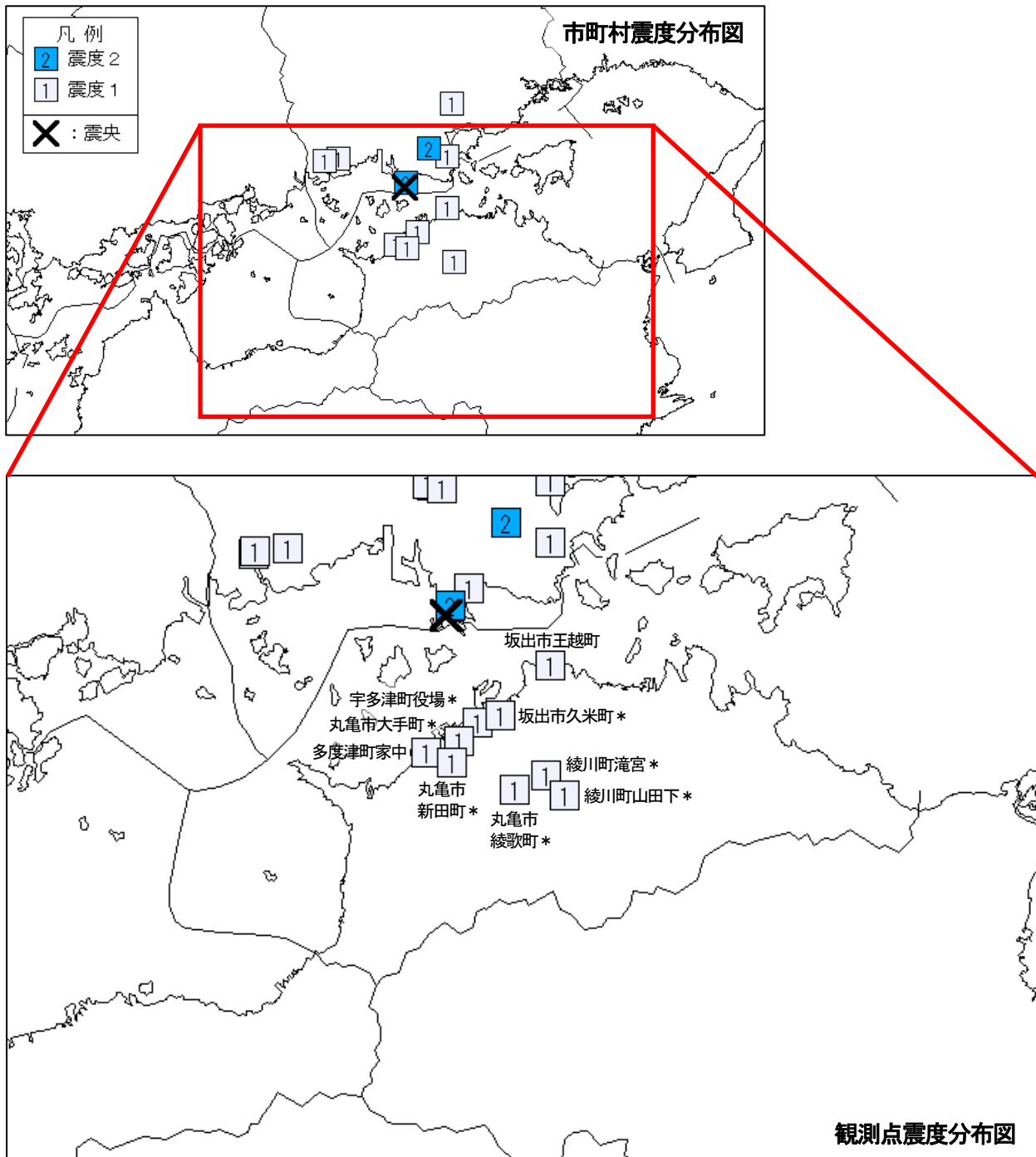
## ◎香川県の地震表（震度1以上）

| 震源時（年月日時分）<br>各地の震度                                                              | 震央地名   | 緯度          | 経度           | 深さ   | マグニチュード |
|----------------------------------------------------------------------------------|--------|-------------|--------------|------|---------|
| 2024年10月25日23時41分<br>香川県 震度 1                                                    | 瀬戸内海中部 | 34° 26.1' N | 133° 46.9' E | 16km | M3.2    |
| ： 丸亀市新田町＊, 丸亀市綾歌町＊, 丸亀市大手町＊, 坂出市王越町, 坂出市久米町＊<br>宇多津町役場＊, 多度津町家中, 綾川町山田下＊, 綾川町滝宮＊ |        |             |              |      |         |

＊は気象庁以外の震度観測点

## ◎震度分布図

2024 年 10 月 25 日 23 時 41 分 瀬戸内海中部の地震



\* は気象庁以外の震度観測点

# 【南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会調査結果】

気象庁では、大規模地震の切迫性が高いと指摘されている南海トラフ周辺の地震活動や地殻変動等の状況を定期的に評価するため、南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会、地震防災対策強化地域判定会を毎月開催しています。

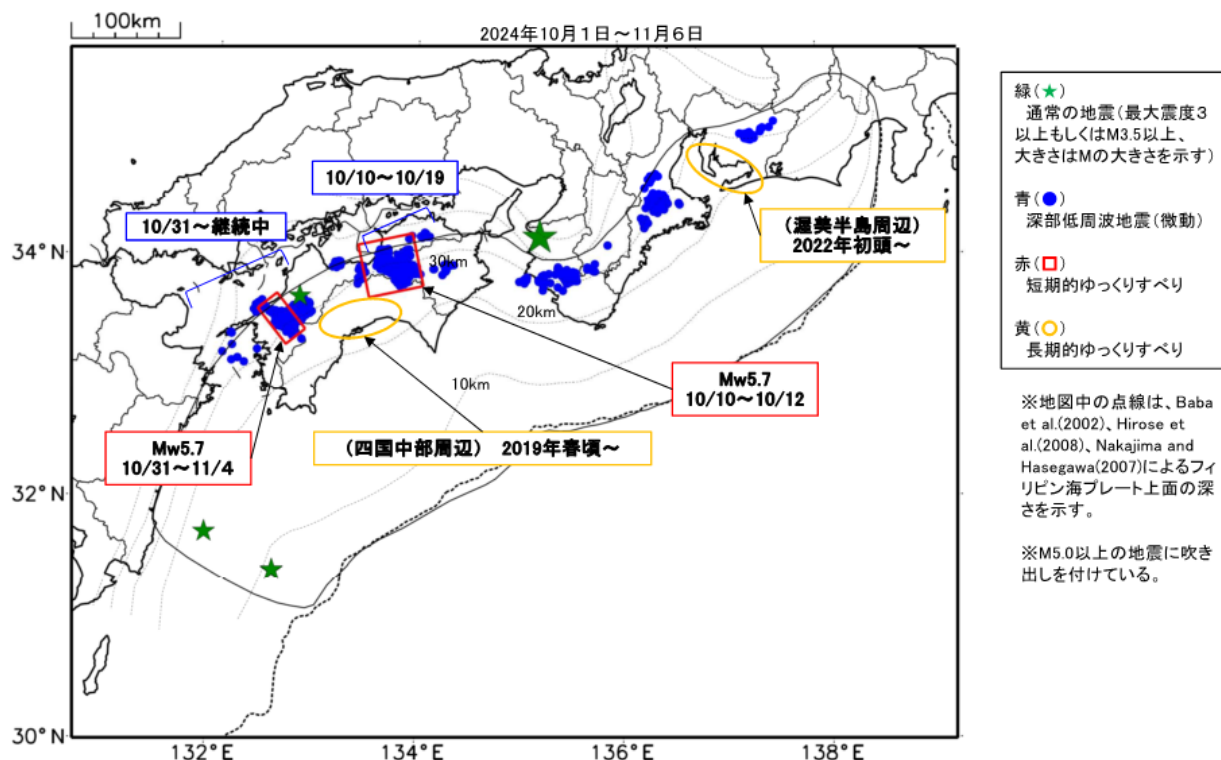
令和6年(2024年)11月8日に公表された評価検討会で評価された調査結果は次のとおりです。

## 【調査結果 (概要)】

現在のところ、南海トラフ沿いの大規模地震の発生の可能性が平常時(注)と比べて相対的に高まったと考えられる特段の変化は観測されていません。

(注) 南海トラフ沿いの大規模地震(M8からM9クラス)は、「平常時」においても今後30年以内に発生する確率が70から80%であり、昭和東南海地震・昭和南海地震の発生から約80年が経過していることから切迫性の高い状態です。

## 【最近の南海トラフ周辺の地殻活動】



通常の地震(最大震度3以上もしくはM3.5以上).....気象庁の解析結果による。  
深部低周波地震(微動).....(震源データ)気象庁の解析結果による。(活動期間)気象庁及び防災科学技術研究所の解析結果による。  
短期的ゆっくりすべり.....【四国東部】産業技術総合研究所の解析結果を示す。【四国西部】気象庁の解析結果を示す。  
長期的ゆっくりすべり.....【瀬美半島周辺、四国中部周辺】国土地理院の解析結果を元におおよその場所を表示している。

気象庁作成

上図の深部低周波地震(青●)、短期的ゆっくりすべり(赤□)、長期的ゆっくりすべり(黄○)について、これらの現象は、プレート境界の固着状況の変化を示す現象と考えられることから、気象庁は、関係機関の協力も得ながら注意深く監視しています。

なお、詳細は、次の気象庁報道発表資料をご参照ください。

<https://www.jma.go.jp/jma/press/2411/08a/nt20241108.html>

また、最新の南海トラフ地震に関連する情報は次のページ(URL)をご参照ください。

ホーム>防災情報>南海トラフ地震関連情報

<https://www.jma.go.jp/bosai/nteq/>

# 【地震一口メモ】

## 津波から身を守るために

日本は、世界有数の地震大国で、これまで多くの地震や津波による災害を経験してきました。最近では、平成 23 年の東日本大震災において、東北地方から関東地方にかけての太平洋沿岸を巨大な津波が襲い、甚大な被害を受けました。津波は、通常の波（風浪）とは異なり、数分から数十分大量の海水が押し寄せ、数分から数十分引くという押し引きを繰り返します。津波が陸上を襲った場合、人や建物を押し流し、風景を一変させる程の被害をもたらすことがあります。

### 【津波の振る舞いを知る】

津波は、地震などによって生じた海底の隆起・沈降に伴い発生した海水の波が、四方八方へ広がり伝わっていく現象です。

- ・津波が沿岸に近づき、水深が浅くなるにつれ、**急激に高くなります**。（図 1）
- ・津波の伝播速度は非常に速く、**見てから逃げるのでは間に合いません**。（図 1）
- ・沿岸の地形の影響などにより、**局所的に高くなる**こともあります。（図 2）

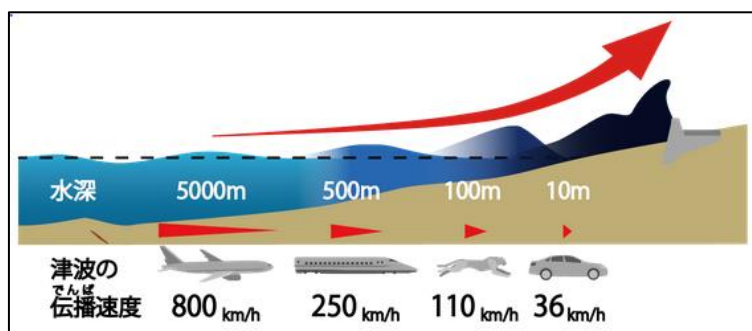


図 1 水深により津波が伝わる速が変化し、海岸付近で津波が高くなる様子

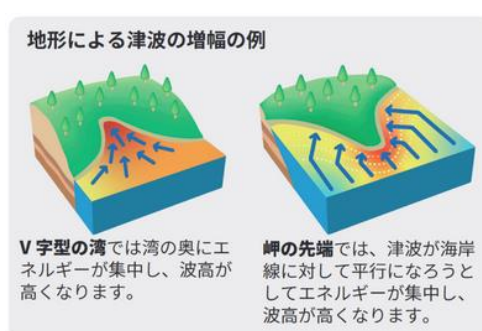


図 2 津波の高さが局所的に高くなるケース

- ・周辺の地形により反射や屈折を経て繰り返し襲ってきます。**後から来る津波の方が高くなる**こともあります。
- ・津波の力は非常に強く、高さが**50cm 程度の津波であっても**立ってられず、流されてしまいます。
- ・津波は「引き」から始まるとは限りません。“潮が引いたら逃げればよい”というのは大きな間違いです。
- ・潮位変化が始まってから最大波が観測されるまで**数時間以上**かかることもあります。

いつ津波が発生しても身を守ることができるように、日頃から色々な場面を考えて備えておきましょう。

### 【日頃からの備え】

#### ・危険な場所を確認

自宅や学校、職場周辺などで津波に襲われるおそれのある場所をハザードマップや周囲の地形から確認しておきましょう。海から離れていても、川に沿って津波が襲ってくることもあります。

#### ・避難場所を確認

津波避難場所や避難ビルがどこにあるか、また避難経路などを周りの人と確認しておきましょう。避難場所は 1 ヶ所だけでなく、さらに高い場所にあるところも調べておきましょう。

#### ・訓練に参加しよう

実際に避難経路をたどってみるなど、積極的に訓練を実施しましょう。

## 【津波警報等の発表】

気象庁は、津波災害を防止・軽減するために、津波注意報、津波警報及び大津波警報等を発表し、注意や警戒を呼びかけています。

津波から身を守るためには、これらの情報を理解し、迅速な避難（安全確保）を行うことが重要です。

## 【安全を確保するための行動】

津波警報・注意報を見聞きしたり、海辺で強い揺れを感じたり、長くゆっくりした揺れを感じたりしたら、**海辺から離れ、より高い安全な場所へ避難**しましょう。

### ・解除まで気を付けて

津波は繰り返し襲ってきます。津波到達後も津波警報・注意報が解除されるまで気を緩めず、避難を続けてください。津波警報が出ている間は、絶対に戻ってはいけません。

### ・注意報でも海中は危険

津波注意報が出ているところでは、海水浴や磯釣りなど、海岸で行う作業は危険です。ただちに海から上がって、海岸から離れてください。

### ・正しい情報を入手

テレビやラジオ、広報車、防災行政無線などを通じて正確な情報を入手しましょう。

## 【津波警報等の発表を知る手段】

津波警報等は、気象庁ホームページのほか、テレビやラジオ、携帯電話、防災行政無線、津波フラッグなどで知ることができます。

### ・携帯電話やスマートフォンでの大津波警報・津波警報の受信

携帯電話事業者により、緊急速報メールでの大津波警報・津波警報の配信が行われています。受信対応機種及び受信するための設定などの詳細については、携帯電話各社のホームページでご確認ください。

### ・津波フラッグによる伝達

令和2年夏から海水浴場等で、津波フラッグによる視覚的伝達が行われています。「津波フラッグ」を用いることで、聴覚に障害をお持ちの方や、波音や風で音が聞き取りにくい遊泳中の方などにも津波警報等の発表をお知らせできます。

海水浴場や海岸付近で津波フラッグを見かけたら、速やかに避難を開始してください。

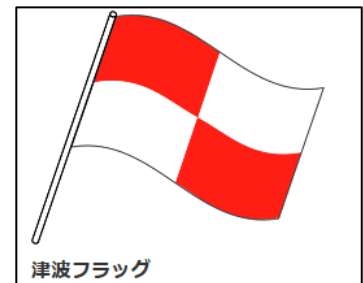


図3 津波フラッグ

## 【リンク紹介】

津波から身を守るために 気象庁ホームページ

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami\\_bosai/index.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/index.html)

津波フラッグ 気象庁ホームページ

[https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami\\_bosai/tsunami\\_bosai\\_p2.html](https://www.data.jma.go.jp/eqev/data/tsunami_bosai/tsunami_bosai_p2.html)